

【畑地帯総合整備事業 上郷角内地区】

基盤整備を契機とした担い手の育成と有機農業の拡大

(茨城県つくば市)

体制・人材
づくり

栽培作物
・方法

加工・出荷

販売

【工夫のポイント】

- 高収益作物（有機農業）の導入を可能とするほ場の大区画化、農道・排水施設の整備
- 担い手への農地集積・集約による経営規模の拡大
- 地区担い手により新規就農希望者を育成・支援し、地域担い手の増加を実現
- 農福連携に取り組み、多様な人材の確保と地域貢献に寄与

【取組地域の概要】

位置
茨城県つくば市

かみごう かくない
上郷角内地区



地区面積
21.2ha
(畑16.8ha、水田4.4ha)

主要作物
じゃがいも、たまねぎ、さつまいも
えだまめ 等

主な支援施策
・経営体育成促進事業（R1～）
・多面的機能支払交付金（R1～）

基盤

【整備前】

狭小で不整形なほ場、狭幅な道路のため、農作業に多大な労力を要していた。また、排水路が未整備のため不安定な営農を余儀なくされていた。



不整形で狭小なほ場



狭い道路

基盤整備
(R1～)

区画整理による計画的な生産体制の確立

【整備後】

- 区画整理や排水施設整備にあわせた担い手への農地集積・集約により、大型機械導入が可能となり、作業効率が大幅に向上
- 多様な品目を年間を通じて安定的に生産が可能に



区画整理による大区画化



整備された農道、排水路

生産現場

区画整理による高収益作物の導入



じゃがいも



たまねぎ

有機農業を含む高収益作物の導入が可能となり、安定した周年作付体系を確立

現 況	計 画
芝	じゃがいも
そば	たまねぎ
	さつまいも
	えだまめ
	にんじん
	はくさい

取組

有機農業の導入拡大と農福連携



有機栽培のさつまいも

- 主要担い手が、有機農業を拡大（たまねぎ、にんじん、さつまいも等）
- あわせて農福連携に取り組み、労働力を確保するとともに、障がい者の方の自立支援の機会を提供

農地の集積・集約化と担い手の経営規模拡大

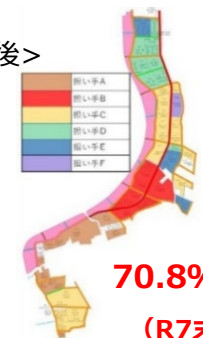
【農地集積率】

<整備前>



5.4%

<整備後>



70.8%

(R7末時点)

- 換地原案の段階で、担い手の耕作エリアを6分割
- これを基に、地元で地権者と将来の貸借を調整
- その結果、6名の担い手への農地集積・集約が進み、経営規模が拡大

多様な担い手の育成・参入

- 主要担い手の下で研修した新規就農者が、新たに地区の担い手として耕作を開始
- 地区外のはくさい農家が、新たに地区の担い手として耕作を開始

担
い
手